広報 いまかね

健康で勤労にはげむ明るい町にいたしましょう。　（町民憲章より）



全道中学スキー大会で快挙

1月26日から3日間、札幌市で行われた全道中学スキー大会で、今金中から出場した山本博子さん（1年）が回転優勝、大回転2位、藤倉千秋君（3年）が回転2位、大回転5位の見事な成績。道南初の快挙とあって、スキー部の仲間たちに囲まれ大喜び。スキー王国の名を全道に広めました。(写真・中央左から藤倉君、山本さん)

'74年
2月号
No. 188

運転マナーの悪さが事故に

昨年の交通事故から

死者４人、負傷者54人



交通事故のニュースは毎日のように私たちの目や耳に飛び込んできており、昨年本道では、交通事故死者四年連続全国一（七百二十八人）という不名誉な記録を残しました。毎日どこかで二人のとい人命が失われ、家庭のしあわせが奪われています。

本町においても例外でなく、毎年犠牲者がでていますが、事故絶滅の願いをこめて、昨年一年間の事故内容を分析してみました。

（資料は今金警察官派出所提供）

昨年一年間に町内で発生した交通事故（人身事故）は二十五件でこれにより四人の死者と五十四人の負傷者を出しています。

前年と比べ件数が六件、死者が一人減っていますが、負傷者は十八人もふえています。

この中で、車どうしが十五件、車と歩行者、自転車がぶつかった事故が六件あります。

事故原因をみますと、車側では安全運転義務違反八件、カーブでのスリップ七件、交通三悪（速度違反、酒酔い、無免許）によるもの五件などがおもで、歩行者側では、自転車の無灯火三件、幼児の路上飛び出し二件と、相変わらず運転者のマナーの悪さ、チョッとした不注意が事故につながっています。また、死者四人のうち二人が老人と幼児というのも考えさせられます。

運転者は、二十五件の事故のうち二十歳以下の若年層が十五件、運転経験五年未満の人が半数を占めており、経験の浅さと、スピードを出す〝カッコ良さ〟が原因と思われます。このことは、道路事情のよい国道での事故が十七件と全体の約七〇％を占めていることからもいえそうです。三十歳台の八人は、運転のなれによる気のゆるみではないでしょうか。

時間別では、午後三時から六時までに十件が集中、月別では、五月、九月、十一月が各四件で、レジャー型の漫然運転、居眠り運転スピードの出し過ぎなど見のがせません。また、九月から十二月までに十三件発生、冬季にきて増加の傾向になってきています。

本格的な積雪期ですが、スリップによる事故は、路外転落や対向車との正面衝突など、直接死亡事故につながりがちです。このため特に控えめな運転がたいせつです。

雪路での運転は特に注意が必要。思わぬ事故が待ってます

高額医療費は国保で負担

幼稚園条例も制定

臨時町議会

第一回臨時町議会は一月三十一日開かれ、国民健康保険条例の一部改正、町立幼稚園条例の制定など八議案を審議し、いずれも原案どおり可決しました。おもな内容は次のとおりです。

◇国民健康保険条例の一部改正及び国民健康保険会計事業勘定補正予算

高額療養費の制度ができ、一人一カ月の医療費の自己負担額が三万円をこえた場合は国保で負担することになりました。これに伴って四十八万円が追加され、予算総額は一億七千八百四十七万七千円になりました。

◇町立幼稚園条例の制定

ことし四月から旧高校跡（昨年は季節保育所で利用）に設置するため、定員、職員、保育料の額などが定められました。

◇町職員定数条例の一部改正

町長部局が七十人から七十三人に、教育委員会事務部局が八人から十人に、教育機関が四人から九人に、消防が六人から十一人に職員の定数が改められました。

◇町監査委員の選任

任期満了に伴う町監査委員（学識経験者）に、小岩隆一さん（64歳・種川）が再任されました。

道路を広く使おう

この冬は雪が多く、市街地の道路がたいへん狭くなっています。路上駐車は交通の障害になるばかりでなく、除雪作業のじゃまにもなりますのでやめてください。

また、町民センター前広場の夜間駐車が目だちます。朝の除雪ができませんので、絶対避かないようお願いします。

いずれにしても、交通事故は被害者も加害者も一瞬のうちに不幸のどん底におとし入れます。

運転者一人ひとりが気をつけるのはもちろん、町民みんなで考えみんなの協力で、私たちの町から悲惨な交通事故をなくしたいものです。

日本と同じ尺度で見られない東南アジア

道内から新成人を中心に約四百三十人が参加した「第一回道民の船」。本町からもことし成人を迎えた村上隆文さん（稲穂）と村瀬重一さん（八束）の二人が派遣され昨年十一月二十七日から一カ月間にわたり、釜山、香港、バンコック、シンガポール、マニラの各地を訪問。洋上研修やレクリエーション、現地青年との交歓会、視察などをして十二月二十六日無事帰国しました。

村上さんと村瀬さんの感想記を紹介します。

道民の船　村上、村瀬さんの感想記

活気がない韓国

カ月の生活の場、一万トンのコーラルプリンセス号は、小雨のなか知事をはじめ多数の人々に見送られ、期待と不安を乗せて青い海原へ出航した。

冬の日本海、第一の訪問地釜山までは地獄だった。団員のほとんどが船酔に悩まされた。しかし、仲間のすばらしさも身にしみてわかった。

二十九日、予定より三時間遅れて釜山に入港。山という山が岩山で、緑はほとんどなかった。ただ海の青さのみ印象に残った。

市内は殺伐としており、韓国の国状がしのばれた。商店街はひっそりとして、ある店では日本製のミシン（十年ほど前のもの）が整然と並んでいた。中心街も活気がなく、目についたのは顔を真っ黒にして自転車で木炭を運んでいる青年の姿だった。



あいきょうのよいマニラの子どもたち（中央が村上さん）

香港の二つの顔

十二月三日「世界の自由貿易港」香港に着いた。港は船でいっぱい。さすが自由港である。

町は高層ビルに囲まれ、夜の町は非常にきれいだった。反面、裏通りは貧民街という感じを受けた。一本の川で国境が定められ、しかも同じ人種によって国が分けられている悲しさを痛感した。

六畳に十人もが生活している難民アパート、水上生活者。これらを見て「香港は二つの顔をもった町」の印象を受けた。

香港を出港してから気温はどんどん上がり、四十度近くにもなった。船内は冷房がきいて涼しかったが、外へは岩くて出られなかった。夜は湿度が高く蒸しぶろにはいっているようだった。そんななかでも研修は続き、船はタイを目ざしてすべるように走った。



タイの水上マーケット

スコールを体験

八日、バンコックに着いた。メナムの水上生活、水上マーケットそして広々とした平野、そのなかにぽつりとあったアニタヤの遺跡など思い出に残った。子どもたちは、はだしでたばこをせがみ、そして吸っていた。

十三日にシンガポール（昨年研修という感じで、平均六時間、船が揺れても行われた。船には軽スポーツや娯楽の用具、飲食コーナーなどがあり、自由時間にはみんなここに集まり、飲んだり食べたりゲームなどをした。船の中ではこの時間が最も楽しかった。全道の青年との交流ができ、各地の状況も知ることができた。

全道の青年と交流

一カ月間の船内生活は一日中研修という感じで、平均六時間、船が揺れても行われた。船には軽スポーツや娯楽の用具、飲食コーナーなどがあり、自由時間にはみんなここに集まり、飲んだり食べたりゲームなどをした。船の中ではこの時間が最も楽しかった。全道の青年との交流ができ、各地の状況も知ることができた。

一カ月の東南アジア旅行。第一に、これらの国々を日本と同じ尺度で見てはいけないこと、第二にすばらしい仲間を多数得たことーなど貴重な体験をした。

これまで知らなかった人たちと手紙、電話などの交流が毎日のように続いている。これらを生かし成人として社会人として責任のある行動をしたいと心に誓っている。



残った外装工事も３月までに完成。雪深い通学路を歩く子どもたちもうれしそうです。

明るく健康的な環境のなかで楽しく勉強してもらおうーと、昭和四十四年十月から改築工事が進められていた今金小は、総工費二億七千六百万円で予定より一年早くほぼ完成しました。

今年度は、すでに完成していた三階建て後面校舎、体育館に続き正面玄関、一年生用三教室とプレールーム、職員室、校長室、衛生室、放送室などがある平屋建て前面管理棟を建設していたものです。

特別教室などに仮住まいしていた一年生と教職員は、三学期の始まる一月二十一日さっそく引っ越しました。新年度は、グラウンドの拡張と整備も行われることになっており、モデル校舎として大いに期待されています。



思い切り遊べるプレールーム

予定より１年早く　今金小新校舎、ほぼ完成



広く明るい玄関とホール。右が職員室、左が一年生の教室とプレールームになっています。



児童の健康を守る衛生室。定期検診や応急手当に利用されます。





学校に慣れない一年生のために他の学年と独立して配慮されたプレールーム（写真上）ドアのないトイレと手洗い所（写真円）明るい日ざしの差し込む教室（写真左）と一カ所にかたまっており、一年生たちは思い切りはねまわり、元気な笑い声が新校舎いっぱいにはずんでいます。

もうすぐ一年生
正しいしつけと学校への希望を

四月の入学式も間近かになりました。ことし入学するお子さんのいるご家庭では何かと準備に忙しいことと思います。

保育所や幼稚園へ行っているお子さんでも、これまでは遊びが中心でしたが、小学校にはいりますと勉強するということが生活のなかのたいせつな要素となります。こうした生活の転換は、学校の先生が責任をもって徐々に指導してくれますが、各家庭では、学校が将来の生活に役だつたいせつなところ、お友だちといっしょに勉強する楽しいところ、というイメージをいだかせ、入学への希望をもりたててください。

また、自分の名前がいえる書ける読める、あいさつができる、ハイとイイエの意思表示ができる、ハンカチやチリ紙の使い方とそのしまつ、自分の衣服の脱ぎ着ができる、用便がひとりでたせるーなどは、最低身につけさせておきたいものです。



なお、教育委員会では対象家庭に入学通知書を送りましたがまだ届いていない人は至急申し出てください。ことしは、昭和四十二年四月二日から四十三年四月一日までに生まれた児童が対象です。

入学児童について次のことを知っておいてください。

▽就学の猶予と免除

児童は満六歳になると小学校へ入学し、九年間学校教育を受ける義務があります。しかし、病弱で発育不全な児童や、やむを得ない理由のある児童は、就学義務の猶予または免除をされますので、このような児童のいる方は教育委員会に申し出てください。

▽健康診断と知能検査

二月下旬に健康診断と知能検査を行います。その結果により入学までに必要な治療の勧告や健康上の助言を行います。

知能検査は、精神薄弱児の発見のために行うもので、その疑いのある児童については精密検査をし、必要な指導もします。

いずれにしても、心身ともに健康で、楽しい学校生活をスタートさせてやってください。

忘れず申し出を

各種の医療費助成

赤ちゃんのすこやかな成長、お年寄りのしあわせ、さらに恵まれない人たちのために、町では次のように医療費の助成を行っています。対象になると思われる方は、役場福祉労政課で手続きの上「受給資格証」の交付を受け、病院にかかるとき健康保険証とともに病院の窓口に出してください。

▽**乳幼児**　三歳未満児が対象で零歳児は入院通院、一、二歳児は入院の医療費の自己負担分の一部。

▽**重度心身障害者**　身体の場合は身障手帳の一、二級、精神では知能指数がおおむね三十五以下（盲ろうあなどの障害のある人はおおむね五十以下）の人が対象で、入院通院の自己負担分の一部。

▽**母子家庭などの児童**　配偶者のない女子が児童を扶養、または両親が死亡、行先不明などの理由にある児童を扶養している家庭でその子が義務教育終了まで対象。入院の自己負担分の一部。

▽**老人**　満七十歳以上の老人が対象で、入院通院の自己負担分の全額。

▽**寝たきり老人**　六十五歳以上で身障手帳の一～三級に該当するか、老齢福祉年金、障害年金などの受給者、または、現に寝たきりの状態にある人が対象で、入院通院の自己負担分の全額。

児童手当の支給範囲が拡大されます

四月一日から児童手当の支給範囲が広くなります。

児童手当は、現在十八歳未満の児童が三人以上いる家庭で、昭和三十八年四月以降に生まれた三番目以降に、月額三千円が支給されていますが、ことしの四月一日から十八歳未満の児童が二人以上いる家庭の三番目以降の児童（ただし、義務教育終了前）に支給範囲が拡大されます。

申請書の受け付けは、三月三十一日まで役場福祉労政課で行っていますので、早めに手続きしてください。なお、四月一日以降に申請された方については、受付日の翌月分からの支給となります。

高齢者の方も国民年金に加入を

国民年金法の改正で、どの制度からも年金が受けられない高齢者の方々のために、国民年金（五年年金）に再度加入する道が開かれています。

加入できる方は、明治三十九年四月二日から明治四十四年四月一日までに生まれた方で、保険料納めること一カ月九百円。五年間納めると年額九万六千円の年金が支給されます。加入の受け付けは三月末日までです。早めに役場福祉労政課で手続きしてください。

野犬掃討中です

町では、三月末日まで野犬掃討を実施しています。

放し飼いをしていますと、野犬とみなし捕獲や薬殺をします。犬は必ずつないで飼い、不用になったときは保健所に引き取ってもらいましょう。



現庁舎で最後の出ぞめ式

現庁舎で最後の出ぞめ式

消防団恒例の出ぞめ式は、一月五日から八日まで、美利河、花石、種川、今金の各分団ごとに行われました。

各分団では、制服に身をかためた団員が終始きびきびした動作でマチを行進、町長に火災予防を呼びかけていました。今金分団は、現庁舎で最後の出ぞめ式とあって感慨深げでした。（写真）

なお、永年勤続により次の方々が道知事から表彰されました。

▽**二十年勤続**　村端正一（花石）山本増美、加藤政治、伊藤昭一、坂本武史、八重樫隆（以上種川）

▽**十年勤続**　菅井幸治、大坂悦郎（以上花石）渡辺英雄（種川）田中繁、青木隆、古谷信一郎、林原春雄、川村正夫（以上今金）

また、長い間副団長として活躍した西田正蔵さんと日野太さんが退団し、新しい幹部は次のようになりました。

▽団長　内藤重蔵▽副団長　多田貞太郎、松井正男、阿部正夫▽今金分団長　及川良▽同副分団長　山崎敏雄

開基八十周年を祝う

豊田　生活館も落成、二重の喜び

豊田部落の開基八十周年記念式と生活館の落成式は、一月二十一日豊田小で行われ、部落では二重の喜びにひたっていました。

豊田には、明治二十八年に移民が定着。しかし、湿地で泥炭地と農耕には適しておらず、加えてたび重なる洪水に見舞われるなど、開拓先人の労苦は血のにじむようなものでした。大正六年に南川松栄さんが稲作に成功。以来、用水路の整備や土地改良などにより造田も順調に進み、現在では、百三十㌶の美田が広がる町内有数の米どころに発展しました。



盛大に行われた記念式

また、りっぱな永久橋に生まれ変わった豊田橋、舗装された道々など環境整備も着々と進んでいます。完成した生活館も環境整備事業の一つで、ブロック平屋建て百六十六平方㍍のモダンな建物。集会室や研修室、調理実習室もある総合的集会施設としてその活用が期待されています。

この部落で忘れてならないのは長年の歴史でつちかわれた人の和。教育に熱心なPTA、生活改善に努力している婦人会、花いっぱい運動を進めている青年団と、いずれも町内で先導的役割を果たしています。

さらに、部落総ぐるみの協力で豊田河畔、豊水苑の整備、神社の植林、郷土誌の発刊などの八十周年記念事業を成し遂げました。

記念式には来賓や部落の人たち百五十人が出席。祝賀会では、青年たちが伝統を守る〝鬼能太鼓〟も披露され、古老を中心に昔話しに花を咲かせながらも、新たな発展を誓い合っていました。

おしらせ



■幼稚園児を募集

4月から旧高校跡で町立幼稚園が開設されますが、教育委員会では次により園児を募集していますので、2月末日までに教育委員会事務局へ申し込みください。

▷**入園資格**＝昭和43年4月2日から45年4月1日までに生まれた幼児▷**定員**＝160人▷**入園料**＝入園時1,000円▷**保育料**＝月額3,000円▷**保育時間**＝午前8時30分から平日は午後1時30分、土曜日は午前11時30分

■保育所の入所児なども募集

町では今金保育所と今金季節保育所の入所児を募集しています。入所希望者は2月19日から23日までに役場会議室にお越しください。

なお、各季節、へき地保育所の保母も募集しています。希望者は履歴書を添え2月末日までに役場福祉労政課に申し込んでください。

■農業用水利実態調査に協力を

水田面積の増減による許可水量の変更、名義変更、また水利権のない人などを対象に農業用水利の実態調査を実施しています。

昨年1月の調査後に変更のあった人や申告もれの人は、至急役場耕地課に申し出てください。

■利別川使用許可更新の手続きを

一級河川利別川の敷地使用の許可は3年ごとに更新することになっています。許可を受け使用している農家の方は、3月末日までに開建利別川改修事務所管理係で手続きしてください。

■油絵教室に参加しよう

北陽画会では、3月から町民センターで油絵教室を開きます。

希望される方は、役場内の村上か北桧山小学校内の近藤へ電話などで申し込みください。

くらし

道生活科学車“あゆみ号”による消費者生活講座が2月19日午前10時から開かれます。おさそい合わせてお越しを。

生活を見直そう

日本の経済が高度に成長して、私たちの生活に必要な諸物資は豊富に出まわっていますが、これらの物資の大部分は石油など外国から輸入された資源によってつくられています。しかし、日本が将来とも外国の資源にたよるにしても地球上の資源は無限にあるわけではありませんし、また、相手国の都合によって今後必ずしも思うように手にはいるとは限りません。

一方、私たちはゴミの処理やいろいろな公害に悩まされています。

これは、私たちのこれまでの生活のなかに〝消費は美徳〟とか〝使い捨て〟などの意識があって「もの」をそまつにしたり、使えるものを捨てたりする習慣が一般的になってきたからだと思います。

資源をたいせつにする国、ゴミの少ない国こそ文化国家といえるのではないでしょうか。

いまこそ、生活を見直さなければなりません。さしあたって、各家庭では、暖房時間の短縮や室内温度の調節、マイカーの自粛、さらに電灯や電気器具を上手に使うなど、石油や電力を無駄にしないよう心がけるとともに、紙やその他の生活用品なども再利用、交換利用などにより、有効に使うよう気を配りたいものです。これらによって、家庭経済もよりいっそう堅実なものになると思われます。

おめでとう　千代桜関



大相撲初場所で、千代桜関（本名斎藤輝夫さん・神丘出身・写真）が十二勝三敗で見事に十両優勝。

初土俵から八年ぶりの栄冠だけに本人はもちろん両親や後援会の人たちも大喜び。入幕も目の前になり「郷土の声援にこたえるようけいこに励みます」と張り切っています。

神丘道路愛護組合に道社会貢献賞

長い間組合員が協力し、道路の草刈、補修、側溝の整備などに努めている神丘道路愛護組合（組合長・白岩仁太郎さん）に道知事から社会貢献賞が贈られました。

広報いまかねが二年連続特選に

第二十回北海道広報コンクールで「広報いまかね」（昨年の六月号）が町村の部で二年連続特選になり全国コンクールへ出品されました。今後もよろしくご協力をお願いします。

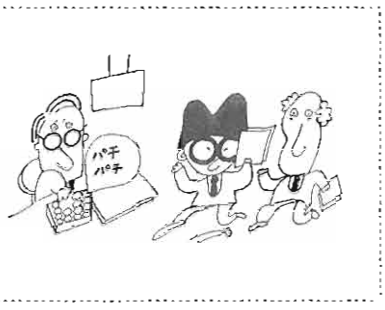
26、27日に納税相談

確定申告はお早めに

昭和四十八年分の所得税の確定申告は、二月十六日から三月十五日までです。

所得税は、自分で所得や税額を正しく計算して申告し納税する、申告納税制度になっています。この日程外では直接税務署に申告しなければならず、また、無申告のときは各種の控除などが認められなくなります。申告書は郵送でけっこうですので忘れず期限までに申告しましょう。

税務署では、この期間中、所得や税額の計算方法と、申告書の書きかたなどについていつでも相談に応じています。また、二月二十六日と二十七日に役場で納税相談を行いますので、気軽にご利用ください。



申告の必要な方は❶商業、農業、欲食業などの事業をしている方❷地代、家賃、配当などの所得があった方❸山林、宅地、その他資産を譲渡したなどで昨年中に所得があった方❹給与所得者で、家賃、配当などの「給与以外の所得」があった方―などです。

申告をするときには、源泉徴収票や控除のために必要な生命保険料、損害保険料、医療費、雑損などの証明書、明細書類、譲渡のときの売買契約書など早めに準備しておいてください。

申告すれば税金のもどる人

確定申告をすれば税金のもどる人の申告も税務署、役場で受け付けていますので、なるべく早めに申告してください。

なお、四十七年に住宅取得控除の適用を受けた方、四十八年に住宅を新築、購入された方で、一定の要件を備えている場合には、税額から最高二万円まで差し引かれますので、忘れず申告しましょう。

広報トピックス



■農閑期利用し農業セミナー

厳しい農業情勢を乗り切ろうーと、一月十二日から三日間町民センターで開かれました。青年や婦人など約五十人が参加、あすの今金農業確立のため熱っぽい討論がかわされました。



■かわいいウサちゃんを守ろう

雪ですっぽり埋まった〝ウサギ公園〟。商工会青年部では「犬などがはいらないように」と、サクのまわりの雪かきに汗を流しました。

ウサちゃんたちは、寒さももろともせず元気に駆け回っていますが、こっそり盗んでいく心ない人もいるとか。残念ですね。

住民の動態

昨年12月31日現在の人口（住民基本台帳）

	前月にくべて比
人口	10,302（－2）
男	5,097（＋6）
女	5,205（－8）
世帯	2,701（－2）

☒たんじょうおめでとう

菊地　珠美（精二　長女）種川
島田なお子（勝雄　長女）種川
油家　正吉（正人　長男）鈴岡
高畑夕佳里（秀樹　長女）旭町
曽我井陽充（正道　長男）神丘
沼水　雪子（好昭　二女）豊田
滝本　忍（隆司　長男）暉町
楠原　豊正（隆紀　二男）神丘
菱田有希子（正伸　二女）昭和町
村本裕美子（正義　長女）田代
湯元　則仁（智彦　長男）鈴岡
日置　誠（泰正　長男）金原
船津　朱央（行恭　長女）東町
水野　千春（英一　長女）鈴金

☒いつまでもしあわせに

河野　稔＝木村トヨ子　栄町
前田　省一＝芳賀　寿子　末広町
森川　忠年＝垣本　咲子　八束
伊藤　俊＝菅原　孝子　種川
渡辺　勝＝内藤喜代子　末広町
菅原　善明＝鈴木　優子　中里
蔭田　芳美＝山口　長子　種川
小川　盛市＝田村　遼子　日進町

◆おくやみもうしあげます

渡瀬　マツ　九十歳　金原
荒川賢太郎　八十歳　南町
須藤　泰助　八十五歳　田代
黒川ツルエ　六十七歳　金原
黒田フサノ　七十六歳　南栄町
吉田イサヲ　五十一歳　末広町

（十二月分）

発行・北海道今金町役場　編集・総務企画課　印刷・長門出版社　発行・49・2・15